エ	事	仕	•	様	書
年 度	令和	7	年度		
番号	道•新 第		号		
道路名	市 道 池	上団地	支 線 14 号	7	·
履行場所	鳥羽	市 池	上 町	地内	
工事名	市 道 池	上団地	支線 14 号	号 道 路	改良工事
設計金額	一金			円	也
工期	令和 8	年 3 月	16 日限	ł Ŋ	
	工	事	の概	要	
集水蓋・ 構造物撤 アスファ	左側) 右側) マンホールエ	N: L= L= N: N: N: A:	=101.7m =1式 =100.2m =101.7m =4箇所 =1式 =1式 =350m2 =1式		
		起工	理	由	

工事名市道池上	団地支線14号道路改良工事		当初 事業区分 道路新設·改築 工事区分 道路改良				改築
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数		数量増減	摘要
道路改良		式	的日次至	1		XA=*A *	11924
道路土工		式		1	I		
掘削工		式		1	I		
掘削	土質土砂;施工方法上記以外(小規模); 施工数量小規模(標準)	m3		20)		
床掘		m3		110)		
埋戻		m3		70)		
残土処理工		式		1			
整地	作業区分残土受入れ地での処理	m3		50)		

工事名市道	道池上団地支線14号道路改良工事		当初]	事業区分		改築
 工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数		数量増減	摘要
土砂等運搬	土質土砂(岩塊·玉石混り土含む)	m3	130-120-2	50		×,±-∃"N	11935
排水構造物工		式					
		10			1		
側溝工		式			1		
自由勾配側溝	B300*400	m		190	3		
自由勾配側溝	B300*500	m			4		
自由勾配側溝暗渠型	B300*400(暗渠型)	m			1		
自由勾配側溝暗渠型	B300*500(暗渠型)	m			1		
コンクリート打設		m3		-	7		

工事名	市道池上団地支線14号道路改良工事		当初	-	事業区分 工事区分	道路新設•	改築
 工事区分・工種・種別・細別		単位	 前回数量	今回数:		数量増減	摘要
コンクリート蓋	300用	枚	刊口双里	179		<u>双里·旬//纵</u>	19女
集水蓋	B300	枚		21			
管渠工		式		1			
塩ビ排水管	VP 300	m		3			
集水桝・マンホール工		式		1			
プレキャスト集水桝	桝規格300×300×700	箇所		1			
プレキャスト集水桝	桝規格300×300×800	箇所		1			
プレキャスト集水桝	桝規格300×600×700	箇所		1			

工事名市道池上	団地支線14号道路改良工事	弄	初	初 事業区分 道路新設·改築 工事区分 道路改良				
工事区分・工種・種別・細別 プ レキャスト集水桝	規格 桝規格300×300×600	単位 前回数量	今回数量	量 数量増減	摘要			
取付工		式	1					
取付工A	VP 300	箇所	2					
取付工	VP 30	箇所	1					
取付工	VP 40	箇所	1					
取付工	VP 50	箇所	5					
取付工	VP 75	箇所	10					
取付工	VP 100	箇所	12					

工事名	市道池上団地支線14号道路改良工事		当初	事業区	分 道路新設・改	I築	
				工事区会	工事区分 道路改良		
工事区分・工種・種別・細	· 别 規格	単位前回	数量 今回]数量	数量増減	摘要	
取付工	VP 200	箇所		2			
現場打ち水路		箇所		1			
雑工		式		1			
間詰工		式		1			
コンクリート	18-8-25BB	式		0.5			
構造物撤去工		走		1			
構造物取壊し工		式		1			
コンクリート構造物取壊し	構造物区分無筋構造物;工法区分機械 施工	m3		2			

	工事名 市道	道池上団地支線14号道路改良工 事			当初		事業区分	道路新設•	改築
							工事区分	道路改良	
工事区分・工程	重・種別・細別	規格	単位	前回数	量	今回数	₫	数量増減	摘要
コンクリート構造物取壊	U	構造物区分鉄筋構造物;工法区分機械 施工	m3			5			
舗装版切断		舗装版種別アスファルト舗装版;アスファルト舗装版厚15cm以下	m			13			
舗装版破砕		舗装版種別アスファルト舗装版;舗装版厚5cm	m2			380			
運搬処理工			式			1			
殻運搬		殻種別アスファルト殻	m3			19			
殼運搬		殻種別コンクリート殻(無筋)	m3			2			
殻運搬		殻種別コンクリート殻(鉄筋)	m3			5			
殼処分		殻種別アスファルト殻	m3			19			

工事名	市道池上団地支線14号道路改良工事			当初		事業区分		
						工事区分	道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	J. 規格	単位	前回数	量	今回数:	量	数量増減	摘要
殼処分	殻種別コンクリート殻(無筋)	m3			2			
殻処分	殻種別コンクリート殻(鉄筋)	m3			5			
舗装工		式			1			
アスファルト舗装工		式			1			
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類粒度調整砕石 M-30;仕上り 厚100mm	m2			130			
表層(車道・路肩部)	材料種類再生細粒度アスコン(13);舗装厚5 0mm;平均幅員3.0m超	m2			350			
区画線工		式			1			
区画線工		式			1			

工事名 市道池上[団地支線14号道路改良工事		当初	事業区分 道路新設工事区分 道路改良	
	+8+4	単位前回数量	3 A G #h		
工事区分・工種・種別・細別 溶融式区画線	規格	<u>単位</u> 前回数量		<u> </u>	摘要
移設工		式		1	
標識移設工		式		1	
	撤去、再設置共	箇所		1	
仮設工		式		1	
交通管理工		式		1	
交通誘導警備員		人目	4	4	
直接工事費		式		1	

工事名市道池上	団地支線14号道路改良工事		当初	事業区分 道路新設	
 工事区分・工種・種別・細別	規格	単位前回数量	量 今回数	工事区分 共通仮設 数是描述	<u> </u>
工事区力・工程・権力・細力 共通仮設		式		7 <u>量 数量増減</u> 1	打阅 安
共通仮設費(率計上)		式		1	
純工事費		式		1	
現場管理費		式		1	
工事原価		式		1	
一般管理費等		式		1	
工事価格		式		1	
消費税相当額		式		1	

工事名市	道池上団地支線14号道路改良工事		当初	事業区分 道路新設・改築			
				工事区分 共通仮設			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位 前回数	(量 今回数	牧量 数量増減	摘要		
工事費計		式		1			

数量総括表 (1)

						事業区分	
工事名	市道池上団地	支線14号道路改	良事工事			工事区分	
工事区分		種 別	細 別	規格	単位	算出数量	摘要
レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5	, ,	7 11 3/12	214
道路改良					式	1.0	
	道路土工				式	1.0	
		掘削工			式	1.0	
			掘削	土砂	m3	20.0	
		作業土工			式	1.0	
			床堀	土砂	m3	110.0	
			埋戻	W<1.0m, 発生士(土砂)	m3	70.0	
		残土処理工	33/94		式	1.0	
		/X	整地	残土受入地での処理	m3	50. 0	
			土砂等運搬	土砂	m3	50. 0	
	Ht→v +# '\+ \\ →		工业 守足胍	<u></u> 1,1/2			
	排水構造物工	Int/#			式	1.0	
		側溝工			式	1. 0	
			自由勾配側溝	B300-H400(標準型)	m	196.0	
				B300-H500(標準型)	m	4.0	
				B300-H400(暗渠型①)	m	1.0	
				B300-H400 (暗渠型②)	m	1.0	
			インバートコンクリート	18-8-25BB	m3	7.0	
			側溝蓋	コンクリート蓋300用	枚	179.0	
				集水桝B300	枚	21.0	
		管渠工			式	1.0	
			塩ビ排水管	VP Φ 300	m	3. 0	
		桝工			式	1.0	
			集水桝工L1	プレキャスト集水桝 300×300×700	箇所	1.0	
			集水桝工L2	プレキャスト集水桝 300×300×800	箇所	1.0	
			集水桝工R1	プレキャスト集水桝 300×600×700	箇所	1. 0	
			集水桝工R2	プレキャスト集水桝 300×300×600	箇所	1.0	
		取付工	NEVINA 1 THE	0007.0007.000	式	1.0	
		松门上	取付工A	VD + 200			
				VP φ 300	箇所	2. 0	
			既設管取付工	φ 30~ φ 200	箇所	31.0	
			現場打ち水路		箇所	1. 0	
	雑工				式	1.0	
		間詰工			式	1.0	
			コンクリート	18-8-25BB	m3	0.5	

数量総括表 (2)

						事業区分	
工事名	市道池上団地	支線14号道路改.	良事工事			工事区分	
工事区分 レベル 1		種 別 レベル 3	細 別 レベル 4	規 格 レベル 5	単位	算出数量	摘要
	構造物撤去工						
		構造物取壊し工	コンクリート	無筋	式	1.0	
			構造物取壊し	コンクリート	m3	2.0	
				鉄筋コンクリート	m3	5.0	
			As舗装切断	t=5cm	m	13.0	
			As舗装取壊し	t=5cm	m2	380.0	
		運搬処理工			式	1.0	
			殼運搬処理	アスファルト塊	m3	19.0	
				無筋コンクリート塊	m3	2.0	
				鉄筋コンクリート塊	m3	5.0	
	舗装工				式	1. 0	
		車道舗装			式	1. 0	
			路盤工	M-30 t=10cm 再生密粒度アスコン	m2	130.0	
			表層工	再生密粒度アスコン t=5cm	m2	350.0	
	区画線工				式	1.0	
		区画線工			式	1.0	
			停止線	実線,白 W=0.30m	m	2.0	
			路面標示	止まれ(15cm換算 18.6/箇 所)	m	19.0	
	支障物件				式	1.0	
	2311 12411	支障物件			式	1.0	
	仮設工	7017 1071			式	1. 0	
		交通誘導警備 員			式	1. 0	
		, A	交通誘導警備員B		人日	44. 0	
			大地的守言师员D		Χн	11. 0	
	<u> </u>		<u> </u>	1			

			土工集計表	
種別	細 別	規格	計 算 式 単位	数量
掘削工			〈別途土工 〈計算書より〉 計算書より〉	
	掘削	土砂	17.0 + 0.8 m3	17.8
作業土工			〈別途土工 〈計算書より〉 計算書より〉	110
	床堀	土砂	110.1 + 3.2 m3	113.3
			〈別途土工 〈計算書より〉 計算書より〉	
	埋戻	W<1. Om	70.3 + 2.4 m3	72.7
残土処理工			〈掘削〉 〈床掘〉 〈埋戻〉/0.9	
	残土		17.8 + 113.3 - 72.7/0.9 m3	50. 3

	=		i i	 	Ĭ	書	
測 点	距 離		掘削(片切)				
	m m	断 面 積 m2	平均断面積 m2	立 積 m3	断面	積 平均断面和m2 n	漬 立 積 n2 m3
No. 0	0.000	0.2	-	-			
No. 0+0. 5	0. 500	0.2	0.20	0. 1			
No. 1	19. 500	0.2	0.20	3.9			
No. 2	20.000	0.2	0.20	4.0			
No. 3	20.000	0.2	0.20	4. 0			
No. 4	20.000	0.1	0.15	3.0			
No. 4+17. 0	17. 000	0.1	0.10	1. 7			
No. 5	3. 000	0. 1	0.10	0.3			
<u>. </u>							
 合 計	100.000			17. 0			

	=	t i	計	十 第	書	<u> </u>	
測点	距離		床掘		埋	戻(W<1.0	m)
124 ///	m ME	断 面 積 m2	平均断面積 m2	立 積 m3	断 面 積 m2	平均断面積 m2	立 積 m3
No. 0	0.000	1.2	_	-	0.7	-	_
No. 0+0. 5	0.500	1. 1	1.15	0.6	0.7	0.70	0.4
No. 1	19. 500	1. 1	1.10	21.5	0.7	0.70	13. 7
No. 2	20.000	1. 1	1. 10	22.0	0. 7	0.70	14. 0
No. 3	20.000	1. 1	1. 10	22.0	0. 7	0.70	14. 0
No. 4	20.000	1. 1	1.10	22.0	0.7	0.70	14.0
No. 4+17. 0	17. 000	1. 1	1. 10	18.7	0. 7	0.70	11. 9
No. 5	3. 000	1. 1	1. 10	3. 3	0.8	0.75	2. 3
۸							
合 計	100.000			110. 1			70.3

別途土工計算書

		単	位土工(m2/	m)		土 工 (m3)			
名 称	延長(m)	掘削	床掘	埋戻	掘削	床掘	埋戻	備考	
NO. 0-2. 0付近 自由勾配側溝B300-H400	1.7	0.1	0.3	0.3	0.2 m3	0.5 m3	0.5 m3	※数量算出根拠図より	
VP Φ 300<左側>	1.4	0.2	1.0	0.7	0.3 m3	1.4 m3	1.0 m3	※数量算出根拠図より	
VPΦ300<右側>	1.3	0.2	1.0	0.7	0.3 m3	1.3 m3	0.9 m3	※数量算出根拠図より	
小 計					0.8 m3	3.2 m3	2.4 m3		

		排水構造	物工数量集計	書		
工種	種別	細 別	規格	単位	数量	備考
排水構造物工				式	1.0	
	側溝工			式	1.0	
		自由勾配側溝	B300-H400(標準型)	m	196. 1	
			B300-H500(標準型)	m	3.8	
			B300-H400(暗渠型①)	m	0.8	
			B300-H400(暗渠型②)	m	0.7	
		インバートコンクリート	18-8-25BB	m3	6.6	
		側溝蓋	コンクリート蓋	枚	179. 0	
			集水蓋	枚	21.0	
	管渠工			式	1.0	
		塩ビ排水管	VP Φ 300	m	2.7	
	桝工			式	1.0	
		集水桝工L1	プレキャスト集水桝 300×300×700	箇所	1.0	
		集水桝工L2	プレキャスト集水桝 300×300×800	箇所	1.0	
		集水桝工R1	プレキャスト集水桝 300×600×700	箇所	1.0	
		集水桝工R2	プレキャスト集水桝 300×300×600	箇所	1.0	
	取付工			式	1.0	
		取付工A	VP φ 300	箇所	2.0	
		既設管取付工	φ 30~ φ 200	箇所	31.0	
		現場打ち水路		箇所	1.0	

		造物工	延長調	書 -	-1					
細別	規格		測		点			L•R	数量	量
自由勾配側溝	B300-H400	NO. 0	+ 0.5	\sim	NO. 2			L	39. 50	m
	(標準型)	NO. 2		\sim	NO. 3	+	4. 4	L	24. 36	m
		NO. 3	+ 4.9	\sim	NO. 4	+	16.9	L	32.00	m
		NO. 4	+ 18.1	\sim	NO. 4	+	19.5	L	2.00	m
		NO. 0	- 1.9	\sim	NO. 0	-	0.2	R	1.71	m
		NO. 0	+ 2.0	\sim	NO. 2			R	38.00	m
		NO. 2		\sim	NO. 3	+	4.3	R	24. 31	m
		NO. 3	+ 4.8	\sim	NO. 4	+	19.0	R	34. 19	m
							合計		196. 1	m
	B300-H500	NO. 4	+ 19.5	\sim	NO. 5	+	0.2	L	1.00	m
	(標準型)	NO. 0	+ 0.2	\sim	NO. 0	+	2.0	R	1.79	m
		NO. 4	+ 19.0	\sim	NO. 5			R	1.00	m
							合計		3.8	m
	B300-H400	NO. 4	+ 16.9	\sim	NO. 4	+	17.7	L	0.79	m
	(暗渠型①)									
							合計		0.8	m
	B300-H400	NO. 4	+ 17.7	\sim	NO. 4	+	18. 1	L	0.65	m
	(暗渠型②)									
							合計		0.7	m
	側溝蓋									
		196. 1	⇒ 196. ()						
	集水蓋 B300	196. 0	÷ 10.0	=	19.6			L•R	20.0	枚
	コンクリート蓋300用	196. 0	- 20.0	=	176.0			L • R	176. 0	枚
		3.8	÷ 4. 0							
	集水蓋 B300	4.0	÷ 10.0	=	0.4			R	1.0	枚
	コンクリート蓋300用	4.0	- 1.0	=	3.0			L · R	3.0	
管渠工	VP Φ 300	NO. 0	+ 0.2					L	1.40	m
		NO. 0						R	1.30	m
							合計		2. 7	m
	1	1								

		構造物工 延長調書 -2			
細別	規格	測 点		L•R	数量
桝工	集水桝工L1 300×300×700	NO. 0 + 0.2		L	1.0 箇所
			合計		1.0 箇所
	集水桝工L2	No. 3 + 4.6		L	1.0 箇所
	$300\times300\times800$		合計		1.0 箇所
	集水桝工R1	NO. 0		R	1.0 箇所
	$300\times600\times700$		合計		1.0 箇所
	集水桝工R2	NO. 3 + 4.6	н н і	R	1.0 箇所
	$300\times300\times600$		合計		
取付工	取付工A	NO. 0 + 0.2	口前	L	1.0 箇所 1.0 箇所
10,11	4/11 111	NO. 0		R	1.0 箇所
			合計		2.0 箇所

	自由勾配側溝 数量計算書		
名 称	計算	単 位	数量
自由勾配側溝 B300-H400(標準型)	〈左側〉 〈右側〉 L= 97.86 + 98.21 = 196.07	m	196. 1
B300-H500(標準型)	L= 1.00 + 2.79 = 3.79	m	3.8
B300-H400(暗渠型①)	L= 0.79	m	0.8
B300-H400(暗渠型②)	L= 0.65	m	0.7
インバートコンクリート 18-8-25BB	〈左側〉		
18-8-25BB	V= (0.052+0.120)×1/2×0.30×19.50 = 0.50 V= (0.120+0.150)×1/2×0.30×20.00 = 0.81 V= (0.150+0.094)×1/2×0.30×20.00 = 0.73 V= (0.094+0.050)×1/2×0.30×4.36 = 0.09 V= (0.050+0.095)×1/2×0.30×15.14 = 0.33 V= (0.095+0.150)×1/2×0.30×17.65 = 0.65 V= (0.150+0.056)×1/2×0.30×2.65 = 0.08 V= (0.150+0.120)×1/2×0.30×1.00 = 0.04 小計 = 3.23 〈右側〉 V= (0.125+0.145)×1/2×0.30×1.71 = 0.07 V= (0.141+0.150)×1/2×0.30×1.79 = 0.08 V= (0.050+0.140)×1/2×0.30×1.79 = 0.08 V= (0.150+0.091)×1/2×0.30×20.00 = 0.87 V= (0.150+0.091)×1/2×0.30×20.00 = 0.72 V= (0.091+0.050)×1/2×0.30×20.00 = 0.72 V= (0.091+0.050)×1/2×0.30×4.31 = 0.09 V= (0.050+0.091)×1/2×0.30×15.19 = 0.32 V= (0.091+0.127)×1/2×0.30×17.00 = 0.56 V= (0.127+0.059)×1/2×0.30×2.00 = 0.066 V= (0.159+0.125)×1/2×0.30×1.00 = 0.04	m3	6. 6

		7	維工	集	計	表			
種別	細別	規格	計	†	算	式	単位	数	量
間詰工	コンクリート	18-8-25BB	(計算書より)				m3		0. 46

		雑	工言	十 算	書		
測点	距離		間詰工				
IRJ /M		断 面 積	平均断面積	立 積	断 面 積	平均断面積	立 積
	m		m2	m3	m2	m2	m3
No. 0	0.000	0.000	-	_			
No. 0+0. 5	0. 500	0.005	0.0025	0.001			
No. 1	19. 500	0.005	0.0050	0.098			
No. 2	20.000	0.006	0.0055	0.110			
No. 3	20.000	0.004	0.0050	0.100			
No. 4	20.000	0.004	0.0040	0.080			
No. 4+17. 0	17. 000	0.004	0.0040	0.068			
No. 5	3.000	0.000	0.0020	0.006			
合 計	100.000			0.463			

		構造	物 撤 去 工 集 計		<u> </u>
種別	細別	規格	計 算 式	単位	数量
構造物取壊し工			〈別途取壊し数 〈計算書より〉 量計算書より〉		
	コンクリート 構造物取壊し	無筋 コンクリート	2. 21 + 0. 18	m3	2. 4
		鉄筋 コンクリート	5. 04 + 0. 22	m3	5. 3
			〈取壊し工平面図より〉		
	As舗装切断	t=5cm	6.2 + 7.2	m	13. 4
			〈取壊し工 〈取壊し工 〈計算書より〉 平面図より〉 平面図より〉		
	As舗装取壊し	t=5cm	378. 26 + 0. 60 + 1. 73	m2	380.6
運搬処理工					
	殼運搬処理	アスファルト塊	380.6 × 0.05	m3	19.0
		無筋コンクリート塊		m3	2. 4
		鉄筋コンクリート塊		m3	5. 3

	Į	取 壊	しコ	二計	算 書	<u>t</u>	
測 点	距離	無筋コン	/クリート耳	対壊し工	鉄筋コン	ンクリート耳	
枫	TE FIE		平均断面積 m2	立 積 m3		平均断面積 m2	
No. 0	0.000	0.00	_	_	0.05	_	_
No. 0+0. 5	0.500	0.02	0.01	0.01	0.05	0.05	0.03
No. 1	19. 500	0.02	0.02	0.39	0.05	0.05	0. 98
No. 2	20.000	0.04	0.03	0.60	0.05	0.05	1.00
No. 3	20.000	0.00	0.02	0.40	0.05	0.05	1.00
No. 4	20.000	0.02	0.01	0.20	0.05	0.05	1.00
No. 4+17. 0	17.000	0.02	0.02	0.34	0.05	0.05	0.85
No. 5	3. 000	0. 16	0.09	0. 27	0.07	0.06	0.18
合 計	100.00			2.21			5.04

	J	取 壊	しコ	二計	算	書	
測 点	距離	Así	舗装 取壊し	工			
184 111		延長	平均延長	平 積		責 平均断面積	
No. 0	0.000	3.60		m2	n	m2 m2	m;
No. 0+0. 5	0.500	3. 72	3. 66	1.83			
No. 1	19. 500	3. 72	3. 72	72. 54			
No. 2	20. 000	3. 67	3. 70	74. 00			
No. 3	20. 000	3. 95	3.81	76. 20			
No. 4	20.000	3. 70	3. 83	76.60			
No. 4+17. 0	17. 000	3. 70	3. 70	62. 90			
No. 5	3.000	5. 75	4. 73	14. 19			
合 計	100.00			378. 26			

別途取壊し数量計算書

		単位取壊し	数量 (m2)	取壊し数	量 (m3)	
名 称 	延長(m)	無筋Co取壊し	鉄筋Co取壊し	無筋Co取壊し	鉄筋Co取壊し	備考
NO. 0-2. 0付近 既設自由勾配側溝B300	2. 0	0.09 m2	0.11 m2	0.18 m3	0.22 m3	※数量算出根拠図より
合計				0.18 m3	0. 22 m3	

種 別 細 別 規 格 計 算 式 単位 数 1			舗	演装工集計表		
W-30 120.0 + 1.73 + 4.6 m2 126.3 A 20 120.0 + 1.73 + 4.6 m2 126.3 本語装工 (計算書より) 平面図より) 平面図より) 平面図より) 平面図より)	種別	細 別	規格	計 算 式	単位	数量
M-30 t=10cm 120.0 + 1.73 + 4.6 m2 126.3 本事書より 本面図より 平面図より 平面図より	車道舗装					
〈舗装工 〈舗装工 〈計算書より〉 平面図より〉 平面図より〉 再生密粒度アスコン		በঠ ፅሙ →		〈計算書より〉 平面図より〉 〈別途求積より〉	0	100.0
表層工 #4.密校度アスコン t=5cm 348.6 + 0.60 + 1.65 m2 350.9		路盤上			m2	126. 3
		表層工	再生密粒度アスコン t=5cm	348.6 + 0.60 + 1.65	m2	350.9

	舗	装	工	計	算	書	
測 点	距 離	車道	表層工		車道	路盤工	
12/1		延 長	平均延長	平 積	延長	平均延長	平積
No. 0	0. 000	3.42		m2 -	1. 20	m	m2 -
No. 0+0. 5	0. 500	3. 43	3. 43	1. 7	1. 20	1.20	0.6
No. 1	19. 500	3. 43	3. 43	66. 9	1. 20	1. 20	23. 4
No. 2	20.000	3. 44	3. 44	68.8	1. 20	1. 20	24. 0
No. 3	20.000	3. 47	3. 46	69. 2	1. 20	1. 20	24. 0
No. 4	20.000	3. 46	3. 47	69. 4	1. 20	1. 20	24. 0
No. 4+17. 0	17. 000	3. 46	3. 46	58.8	1. 20	1. 20	20. 4
No. 5	3.000	5. 76	4. 61	13.8	1. 20	1. 20	3. 6
合 計	100.000			348. 6			120. 0

車道舗装 別途求積部 計算書-1

		単位舗装	数量 (m)	舗装数量	量 (m2)	
名 称	延長(m)	路盤工		路盤工		備 考
		M-30, t=10cm		M-30, t=10cm		
VPΦ300<左側>	1.4	1.7 m		2.4 m2		※数量算出根拠図より
VPΦ300<右側>	1. 3	1.7 m		2.2 m2		※数量算出根拠図より
A =1				4.0.0		
合計				4.6 m2		

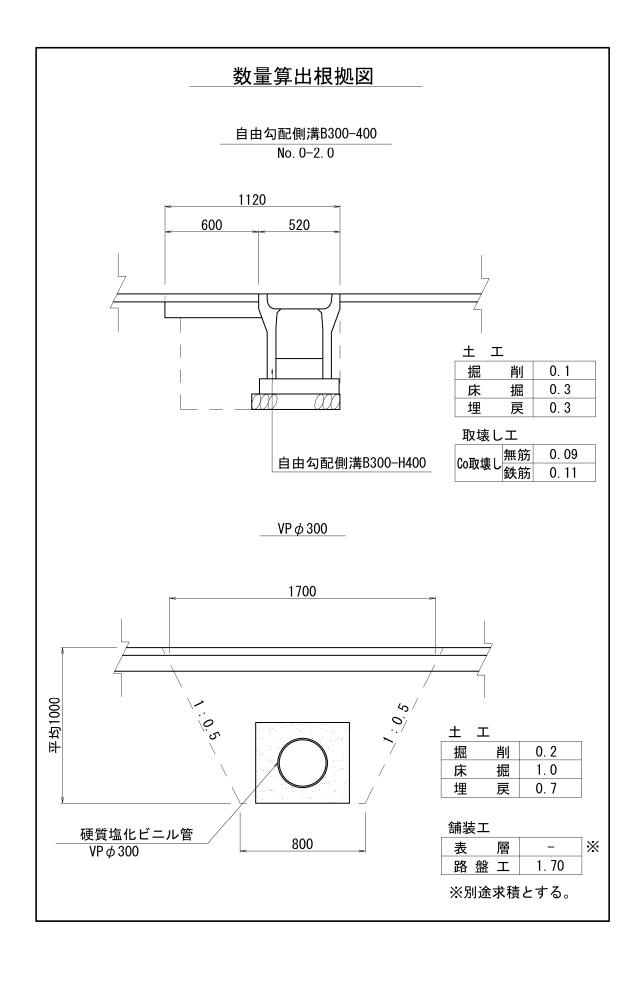
		区画紡	RT 数量集計書			
工種	種別	細 別	規格	単位	数量	備考
区画線工				式	1.0	
	区画線工			式	1.0	
		停止線	実線,白 W=0.30m	m	2.0	
		路面標示	止まれ(15cm換算 18.6/箇所)	m	18.6	(N=1箇所)

		区画線	工	近長調書					
細別	規格			測	点		L•R	数	量
停止線	実線, 白	NO. 0	_				CL	2.0) m
	W=0.30m								
						合計		2.0	
路面標示	止まれ	NO. 0	+	5.0			R	1.0) 箇所
						Λ - 1			~ ~~~
						合計		1. 0) 箇所
		-							

		支障物	物件 数量集計書	t Î		
工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
支障物件				式	1.0	
	支障物件			式	1.0	
		標識	330-B:一時停止	箇所	1.0	

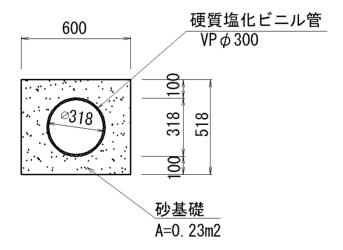
路線名 市道池上団地支線14号 移設対象調書

名称	位置記号	単位	数量	管理者;識別記号等
(支障物件)				
標識	1)	箇所	1.0	330-B:一時停止



東	位	数	量	計	算	書	•
	<u> </u>	<i>></i> >	<u> </u>	μι		<u> </u>	
							_

名 称 VPΦ300



10m当り

				10m当り
細別	規格	算 式	単位	計
硬質塩化ビニル管	$VP \phi 300, L = 4000mm$	10.00/4.00	本	2.5
		図面より		
砂		0.23×10.00	m3	2.30
基面整正		0.60×10.00	m2	6.00

算 単 位 数 量 計 書 称 取付工A 名 取付工A (断面図) (側面図) 既設BOXカルバート B1200×H1200 130 500 VP 00 300 360 鉄筋コンクリート取壊し <u>間詰モルタル(1:3)</u> A=0.17m2 A=0. 25m2 COカッター L=2. 0m 1箇所当り 2田 石口

細別	規格	算 式	単位	計
				ı
間詰モルタル	1:3	0. 17×0. 13	m3	0.02
同上型枠		0.17×2	m2	0.34
1.4-1.1		V. 1		
〈撤去工〉				
コンクリート取壊し	鉄筋Co	0. 25×0. 13	m3	(0.03)
- V) 14Kak U	<i>\$</i> (1),7,00	0.2070.10	mo	(0:00)
Coカッター	鉄筋Co,t=13cm		m	(2.0)
±0.522 kin. Ln 703	DIL trte a			(0, 00)
	鉄筋Co		m3	(0.03)
				ì
				1

仕様書添付用

現立の											交通	誘導警	備員		
選託会会 18	丁事区分・丁種・種別・細別	規格	施丁歩掛	施丁条件	数量	単位	日当たり								歩掛コード
部別工		79610	//E-12/3/	ne 10/KT	<u> </u>	712	施工量	日数	Α	В	Α	В	A	В	941 1
型削															
選別外の規模の		「既」が、松工七次」													
無利の (株) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在) (現在	知刊														
探知 大学一下2: 施工方法-上記以外 (小規 保守) 20 m 3															
接換: 施工機子の機様 (保障) 20 m3 0		<u> </u>	掘削	十質=十砂;施丁方法=上記以外(小規		_									
東陽 東福り 共成 上前 上前 上前 上前 上前 上前 上前 上			314133		20	m 3			0	1	0	1			
現反 増入 増入 増入 増入 増入 増入 増入 増	床掘			30.000											
地域 地域 地域 地域 地域 地域 地域 地域			床掘り	土質=土砂;施工方法=上記以外(小規	110	0			0	1	0	1			
# 小				模);費用の内訳=全ての費用	110	шэ			U	1	U	1			
非水薬造物工	埋戻														
#本権活物工			埋戻し		70	m 3			0	1	0	1			
個演工 日由勾配側溝 日由勾配側溝 日由勾配側溝 日本の配側溝 日本の配列 日本の配	THE THIRD IT			土砂;費用の内訳=全ての費用	10	III O			U	1	, v	1			
自由勾配側溝 8300*400															
自由勾配側落 夜間作業の有無無し、規格・仕様区分 1-200mm 1000kg/個以下、時間的制約 の有無無り、基礎が2月1-100種類18-8-4 (4 高炉) 1 ま 基礎が2月1-100種類18-8-4 (7 数人力) -0.5 lms/10m。 基礎幹可能が 2 (実数人力) -0.5 lms/10m。 基礎幹可能が 2 (実数人力) -0.5 lms/10m。 基礎幹可能が 2 (実数人力) -0.5 lms/10m。 基础が2月1-10種類1-10種類1-10型類1-10種類1-10型列1-10型列1-10															
1-2000mm 1000k/個以下: 時間的制約 の有無-無し: 基礎2が1-0種類-18-8-40 (高炉): 基礎2が1-0種類-18-8-40 (高炉): 基礎2が1-0 20 - 5.18x2*10na 19-6 (高炉): 基礎24次人力) - 5.18x2*10na 19-6 (18x2*1) - 10-0 1	自由勾配側溝	B300*400													
の有無無し、基礎のリーの種類に8-8-4			目田勾配側溝												
40 (高呼) : 基礎か20/9-1-82計数量 (実				=L=2000mm 1000kg/個以下; 時間的制約											
数入力) = 0.5 13a2/10m; 基礎幹石施工の 196 m															
有無年句り、基礎時不の設計数量(実数人) カ) =0.6 lm3/10m: 底部コッリートの種類= 生コッリート (各種)・底部コッリートの種類= 生コッリート (各種)・底部コッリートの種類= 生コッリート (各種)・底部コッリートの種類= 生コッリート (各種)・底部コッリートの種類= 生コッリート (各種)・原語の (大型の) (大型の				40 (高炉) , 基礎-//リート 設計 数重 (夫 ***********************************											
2				数八刀) -0.51m3/10m, 基礎伴有他上の 右毎-右り、其歴ぬ石の種類-再生が続い	196	m			0	1	0	1			
カ つ (5 lm3/10m; 底部2クサートの種類- 生2ンクサート (各種); 底部2ンクサートの種類- は実数入力 = 0m3/10m も															
自由勾配側溝 1															
最 (実数入力) =0m3/10m															
自由勾配側溝 8300*500															
自由勾配側溝 夜間作業の有無=無し; 規格・仕様区分 =1=2000mm 1000kg/個以下: 時間的制約 の有無=無し; 基礎中の一門 10 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0	自由勾配側溝	B300*500		± 00,000,000, 0000,1000											
=L=2000mm 1000kg/個以下:時間的制約	H L AHRIMIT	2000 000	自由勾配側溝	夜間作業の有無=無し; 規格・仕様区分											
の有無無し;基礎リートの種類=18-8-8 40 (高原) + 基礎コクリートの種類= を表現				=L=2000mm 1000kg/個以下; 時間的制約											
40 (高炉) ; 基礎コクリート設計数量 (実 教入力) =0.51m3/10m; 基礎砕石施工の 有無=有り; 基礎砕石の種類=再生プラックマ ラン 40~0; 基礎砕石設計数量 (実数入 力) =0.61m3/10m; 医部コクリートの種類= 生コンクリート を紹介) : 底部コクリートの種類= 生コンクリート 内部 (実数入力) =0m3/10m コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物: 打設工 法=人力打設: コンクリート 機造物・打設工 法=人力打設: コンクリート規格=18-8-25 (高 炉) : 養生工の種類=一般養生: 現場内 小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全て の費用 コンクリート蓋 300月 佐藤区分=据付け; 夜間作業の有無=無 し; 蓋版の種類=蓋版 (各種) ; 規格・ 仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1				の有無=無し;基礎コンクリートの種類=18-8-											
有無=有り;基礎砕石の種類=再生クラッシャ アン 40~0;基礎砕石設計数量(実数入 力) =0.61m3/10m;底部コンクリートの種類= 生コンクリート(各種);底部コンクリートの種類= 生コンクリート打設 コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物;打設工 法=人力打設;コンクリート規格=18-8-25(高 炉);養生工の種類=一般養生;現場内 小運搬の有無=無し;費用の内訳=全て の費用 コンクリート蓋 300用 「作業区分=据付け;夜間作業の有無=無 し;蓋版の種類=蓋版(各種);規格・ し;蓋版の種類=蓋版(各種);規格・ 仕様区分=40kg/枚以下;時間的制約の 179 枚 0 1 0 1				40(高炉);基礎コンクリート設計数量(実											
有無無 4 り; 基礎幹石の種類= 井 生 プ ア シャ 40~0; 基礎幹石の 種類 = 生 コ クリート の種類 = 生 コ クリート 打設 コンクリート (各種) ; 底部 コ クリート と				数入力) =0.51m3/10m; 基礎砕石施工の	4				0	1	0	1			
カ) =0.61m3/10m; 底部コクリートの種類= 生コクリート (各種); 底部コクリートの種類= 量 (実数入力) =0m3/10m コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工 法=人力打設; コンクリート規格=18-8-25 (高 炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内 小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全て の費用 コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無 し; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・ 仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1				有無=有り;基礎砕石の種類=再生クラッシャ	4	m			0	1	U	1			
生コンクリート (各種) ; 底部コンクリート設計数量 (実数入力) = 0m3/10m コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=18-8-25 (高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用 7 m 3 コンクリート蓋 300用 基版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=蓋版 (各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1															
量 (実数入力) =0m3/10m コンクリート打設 コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工 法=人力打設; コンクリート規格=18-8-25 (高 炉) ; 養生工の種類=一般養生; 現場内 小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全て の費用 コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無-無し; 競版の種類=蓋版 (各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1				力) =0.61m3/10m;底部コンクリートの種類=											
コンクリート打設 コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物; 打設工法=人力打設; コンクリート規格=18-8-25 (高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用 コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=蓋版 (各種); 規格・仕様区分=40㎏/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1															
コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物;打設工 法=人力打設;コンクリート規格=18-8-25(高 炉);養生工の種類=一般養生;現場内 小運搬の有無=無し;費用の内訳=全て の費用 コンクリート蓋 300用				量(実数入力)=0m3/10m											
法=人力打設; コンクリート規格=18-8-25 (高 炉) ; 養生工の種類=一般養生; 現場内 小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全て の費用 コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無 し; 蓋版の種類=蓋版 (各種) ; 規格・ 仕様区分=40㎏/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1	コンクリート打設			like Stratt were put have high first to strate stra								1			
			コンクリート												
コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 費用の内訳=全てし; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1				伝=人力打設; コンクリート規格=18-8-25 (高	_				^		_				
コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1				(ア) ・ 養生上の種類=一般養生; 現場内	7	m 3			0	1	I 0	1			
コンクリート蓋 300用 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無 し; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・ 仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1															
蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1	コンカリート芋	300⊞		り 貫用					-			1			
し;蓋版の種類=蓋版 (各種);規格・ 仕様区分=40kg/枚以下;時間的制約の 179 枚 0 1 0 1	コンクリード盃	300月	業 胎	作業区公-提付け、佐門作業の右無-無					-		 	 			
仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の 179 枚 0 1 0 1 0 1			益収												
					170	#/r			0	1	_	1			
				有無=無し;施工箇所における補正=無	179	111			"	1	Ι '	1			
				一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一											

1

仕様書添付用

		_						交通誘導警備員						
工事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当たり	施工	配置			要員		:人員	歩掛コード
集水蓋	P200	> ,.,	N= 1111			施工量	日数	Α	В	Α	В	A	В	2 4.1
朱 小盃	B300	蓋版	作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無											
			し;蓋版の種類=蓋版(各種);規格・											
			仕様区分=40kg/枚以下; 時間的制約の	21	枚			0	1	0	1			
			有無=無し;施工箇所における補正=無						_	Ĭ				
			L											
管渠工														
塩ビ排水管	VP Φ 300													
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	3	m			0	1	0	1			
		基面整正	=200~400mm; 費用の内訳=全ての費用					0	1	0	1			
集水桝・マンホール工		本 田登止		1.8	m 2			0	1	U	1			
プレキャスト集水桝	桝規格300×300×700													
/ 111/1/宋八竹	7/4/2007 2007 100	プレキャスト集水桝	作業区分=据付;製品質量(kg/基)											
		フレイ(ハー米水が	=200kgを超え400kg以下;基礎砕石の有	1	基			0	1	0	1			
			無=有り;費用の内訳=全ての費用	-	2				_		1			
プレキャスト集水桝	桝規格300×300×800													
		プレキャスト集水桝	作業区分=据付;製品質量(kg/基)											
			=200kgを超え400kg以下;基礎砕石の有	1	基			0	1	0	1			
or the of the latter	######################################		無=有り;費用の内訳=全ての費用											
プレキャスト集水桝	桝規格300×600×700	プレナッフをおか	作業区分=据付;製品質量(kg/基)											
		プレキャスト集水桝	作業区分=据付,製品質重(kg/基) =200kgを超え400kg以下;基礎砕石の有	1	基			0	1	0	1			
			無=有り;費用の内訳=全ての費用	1	垄			0	1	0	1			
プレキャスト集水桝	桝規格300×300×600		<u></u>											
., .,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		プレキャスト集水桝	作業区分=据付;製品質量(kg/基)											
			=200kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有	1	基			0	1	0	1			
			無=有り;費用の内訳=全ての費用											
取付工														
取付工	VP Φ 30	> > > > > 1	NUTLATION IN LOCAL LINES WILL NOT SE											
			削孔径=60mm以上64mm未満;削孔深さ =50mm以上200mm未満	1	孔			0	1	0	1			
		ンクリート穿孔機) 暗渠排水管	-50mm以上200mm未凋 作業区分=据付;管種別=直管;呼び径											
		FE AUTON E	=50~150mm; 費用の内訳=全ての費用	1	m			0	1	0	1			
取付工	VP Φ 40		00 100mm/ 90/11/01/11/01 ± 0/09/11											
		コンクリート削孔(コ	削孔径=60mm以上64mm未満; 削孔深さ	1	孔			0	1	0	1			
		ンクリート穿孔機)	=50mm以上200mm未満	1	1L			U	1	U	1			
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	1	m			0	1	0	1			
B-4-T	VD & FO		=50~150mm; 費用の内訳=全ての費用					Ů		Ŭ				
取付工	VP Φ 50	コンカリー 1 割刀 (コ	削孔径=60mm以上64mm未満; 削孔深さ											
		ンクリート穿孔機)		5	孔			0	1	0	1			
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径				1		,	_				
		H N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	=50~150mm;費用の内訳=全ての費用	5	m			0	1	0	1			
取付工	VP Φ 75													
			削孔径=64mm以上77mm未満; 削孔深さ	10	孔			0	1	0	1			
		ンクリート穿孔機)	=50mm以上200mm未満	10	16			U	1	U	1			
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	10	m			0	1	0	1			
			=50~150mm; 費用の内訳=全ての費用					L	1	Ú				

仕様書添付用

	1	1			1	1 ₩ √(2.3.)	1.L	-			誘導警	D114 > 1		
工事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	日当たり	施工	,	人員		要員		:人員	歩掛コード
		旭工少明	旭工木目		4-17.	施工量	日数	Α	В	Α	В	Α	В	3/1A - 1
取付工	VP Φ 100													
			削孔径=100mm以上110mm未満; 削孔深さ	19	孔			0	1	0	1			
		ンクリート穿孔機)	=50mm以上200mm未満	12	10			U	1	U	1			
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	19	m			0	1	0	1			
			=50~150mm; 費用の内訳=全ての費用	12	111			Ů	1	U	1			
取付工	VP Φ 200													
		コンクリート削孔(コ	削孔径=180mm以上200mm以下; 削孔深さ	2	孔			0	1	0	1			
		ンクリート穿孔機)	=50mm以上200mm未満		, .			Ŭ		Ů				
		暗渠排水管	作業区分=据付;管種別=直管;呼び径	2	m			0	1	0	1			
art (1 (a)) 1 (b)			=200~400mm; 費用の内訳=全ての費用					Ŭ	_	Ľ	-			
現場打ち水路														
		現場打ち水路 (本体)	コンクリート規格=18-8-25 (高炉);鉄筋の											
			有無=無し;10m当りコンクリート使用量											
			=3.0m3/10m以上3.3m3/10m以下; コンクリート	1	m			0	1	0	1			
			打設工法=人力打設;養生工の種類=一											
			般養生·特殊養生(練炭)											
雑工														
間詰工														
コンクリート	18-8-25BB													
		コンクリート	構造物種別=無筋·鉄筋構造物;打設工											
			法=人力打設; コンクリート規格=18-8-25(高											
			炉) ;養生工の種類=一般養生;現場内	0.5	m 3			0	1	0	1			
			小運搬の有無=無し;費用の内訳=全て											
			の費用											
構造物撤去工														
構造物取壊し工														
コンクリート構造物取壊し	構造物区分無筋構造													
.,, .,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	物;工法区分機械施工													
	10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -	構造物とりこわし	構造物区分=無筋構造物;工法区分=機											
		11.202020	械施工;時間的制約の有無=無し;夜間											
			作業の有無=無し;低騒音・低振動対策=	2	m 3			0	1	0	1			
			必要											
コンケリート構造物取壊し	構造物区分鉄筋構造		2.9			•								
-7// 「悟垣物収級し	物;工法区分機械施工													
	1/4 / 1/4 F= // 1/X/1/N/1/E	構造物とりこわし	構造物区分=鉄筋構造物;工法区分=機		 	1								
		所足物とうこわし	横施工;時間的制約の有無=無し;夜間			1					1			
			作業の有無=無し; 低騒音・低振動対策=	5	m 3			0	1	0	1			
			必要											
舗装版切断	舗装版種別アスファルト舗装		少女											
 	開業版種別/ オノテルト舗装 版;アスファルト舗装版厚					1					1			
	版,///////// 翻装版厚 15cm以下					1					1			
	190回火 1,	舗装版切断	舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装											
		 	開袋版種別=「スノアルト翻袋版;「スノアルト翻袋 版厚=15cm以下;費用の内訳=全ての費	10				0	1	^	1			
				13	m			1	1	0	1			
全年才士中与エセブカ	4年7年1月17コココール 1 4年7十		用							1	1			
舗装版破砕	舗装版種別アスファルト舗装													
	版;舗装版厚5cm	A+ 1+ UC 7+7+	A+V+1に任用[フョュ] A+V+1に. Bセナケッ・ナ		<u> </u>	1					-			
		舗装版破砕	舗装版種別=アスファルト舗装版;障害等の有			1					1			
			無=無し;騒音振動対策=必要;舗装版	380	m 2			0	1	0	1			
			厚=15cm以下;積込作業の有無=有り;	300					l [^]	ľ	1			
			費用の内訳=全ての費用		<u></u>	<u></u>	L	<u></u>	<u></u>	<u> </u>	<u> </u>	L	<u></u>	

仕様書添付用

	1		T T		I	日当たり	施工	和黑	人員		誘導警 要員		:人員	1
匚事区分・工種・種別・細別	規格	施工歩掛	施工条件	数量	単位	施工量	ルエ 日数	A		文章 A		A A	.八貝 B	歩掛コート
舗装工					 	ルビ上里	日郊	Λ	В	Λ		Λ	В	
アスファルト舗装工														
	路盤材種類粒度調整砕													
	石 M-30;仕上り厚													
• /	100mm													
		上層路盤(車道・路肩	材料=粒度調整砕石 M-30; 全仕上り厚											
		部)	(実数入力)=100mm;施工区分=1層施	130	m 2			0	1	0	1			
			工;費用の内訳=全ての費用											
表層(車道・路肩部)	材料種類再生細粒度アス													
	コン(13);舗装厚50mm;平													
	均幅員3.0m超													
		表層(車道・路肩部)	平均幅員=3.0m超; 1層当平均仕上厚											
			70mm以下=50mm; 材料=再生細粒度アス	350	m 2			0	1	0	1			
			コン(13);瀝青材料種類=プライムコート						_					
区画線工			PK-3;費用の内訳=全ての費用		-					-	-			
区画線工										1	1			
										1	-			
俗触八区曲旅		区画線設置	夜間作業の有無=無し;施工方法区分=											
			格・仕様区分=実線 30cm; 時間的制約の											
			有無=無し; 塗布厚=1.5mm; 排水性舗装											
			に施工する場合の補正=無し;未供用区	9	m			0	1	0	1			
			間の場合の補正=無し;溶融式塗料規格	2	111			0	1	U	1			
			=含有量15~18%; 塗料区分=白; プライ											
			マー規格=アスファルト舗装;費用の内											
			訳=全ての費用											
		区画線設置	夜間作業の有無=無し;施工方法区分=											
			溶融式手動;豪雪補正の有無=無し;規											
			格·仕様区分=矢印·記号·文字 15cm換											
			算;時間的制約の有無=無し;塗布厚											
			=1.5mm; 排水性舗装に施工する場合の	10	m			0	1	0	1			
			補正=無し;未供用区間の場合の補正=	13	111			0	1	U	1			
			無し;溶融式塗料規格=含有量15~18%;											
			塗料区分=白; プライマー規格=アス											
			ファルト舗装;費用の内訳=全ての費用											
16 ⇒n. ¬										-	<u> </u>			
移設工					-					 	 			
標識移設工	松土 古凯栗山				-									
標識移設	撤去、再設置共	+	大工担供加禁 のせいて、 吐明だらがら											
		標識板撤去 (警戒・	施工規模加算=2基以下;時間的制約を 受ける場合の補正=無;夜間作業の補正	4	基			^	٠,	_	4			
		規制・指示・路線番号 標識)	支げる場合の補止=無; 夜間作業の補止 =無	1	坴			0	l 1	0				
		標識/ 標識板設置 (警戒・	=無 標識板材料費の計上の有無=無;施工規		-					-				
		惊啾似取胆 (青岚· 相制•指示•敗總釆早	標画板材料質の計上の有無=無, 施工規 模加算=2基以下; 時間的制約を受ける	1	基			0	1	0	1			
		院前・11/1・12/16 日本語 (大学) 標識 (大学) による になる こうしゅう しゅうしゅう こうしゅう こう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こう こうしゅう こう こうしゅう こう	場合の補正=無; 夜間作業の補正=無	1	Æ				1		1			
	L	1/不 1八	物 日 v / 丽		1						<u> </u>			
						計		I				i	I	

特 記 仕 様 書

1. 総則

本工事は、鳥羽市建設工事執行規則の施工に関し必要な書類の様式を定める要綱、三 重県公共工事共通仕様書及び本特記仕様書に基づくものである。

2. 一般事項

- ・工事着工にあたり地域住民に連絡し、工事施工に支障のないようにすること。
- ・工事着工に先立ち、警察・消防に交通障害、工事届けを提出し、その写しを発注者へ 提出すること。
- ・本工事施工範囲内には水道管が埋設されているため、関係機関と事前に協議すること。
- 隣接する構造物に影響を与えないよう充分注意し予防策を講じること。
- ・安全管理・現場管理に留意し、事故の未然防止に努めること。

3. その他

- ・提出資料については、三重県建設工事実務必携、三重県公共工事共通仕様書、本特記 仕様書、及び監督員の指示によるものとする。
- ・その他必要な事項は、その都度監督員と協議し定めるものとする。

明示項目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工程関係	□別途工事との工程調整が必要あり	□ 調整項目 (□ 資材等の流用□ 仮設及び工事用道路等の調整□ 建設機械等の調整
	(別途工事名:	□ 施工順序の調整 □ その他 () □ 別途協議)
	□ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	□ 制限する工種名 () 施工時期及び施工時間 () 施工方法 ()
	□ 他機関との協議が未完了	□ 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 ()
	☑ 占用物件との工程調整の必要あり	☑ 占用物件名 (☑ 電気 ☑ 電話 ☑ 水道 □ ガス □ その他 ()))
	□ 余裕期間設定工事	□ 発注者指定方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。本工事の着手日は令和 年 月 日とする。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。
		□ 任意着手方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。受注者は、落札決定日の翌日から起算して3日以内に令和 年 月 日 (工事着手期限日)までの期間内で工事着手日を決定し発注機関に通知することとし、本工事の着手日はその日とする。ただし、一度通知した着手日を変更することは認めない。また、休日 (三重県の休日を定める条例第1条に規定する休日)を着手日に設定すること、及び設定した着手日により工期末が休日となる設定は認めない。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。
		 余裕期間設定工事については以下によるものとする。 建設業退職金共済制度掛金収納書の提出については、三重県公共工事共通仕様書によらず工事着手日までに提出するものとする。 本工事は、余裕期間を設定した工事であり、主任(監理)技術者の配置は工事着手日とする。受注者は、契約時に現場代理人等選任通知書に記載した技術者を工事着手日に配置しなければならない。工事着手日に配置できず、余裕期間設定工事試行要領第7条第1項により技術者の変更が認められない場合は、工事続行不能届を提出しなければならない。
	□ その他 ()	ことの他(
用地関係	□ 用地補償物件の未処理箇所あり	□ 未処理箇所 (□ 別添図等 □ No. ~No. □ 別途協議) □ 完了見込み時期 (□ 令和 年 月頃 □ 別途協議)
	□ 仮設ヤードの有無	□ 仮設ヤード (□ 官有地 □ 民有地 □ その他 () □ 別途協議) □ 仮設ヤード使用期間 () □ 仮設ヤードからの運搬距離 (L= km) □ 使用条件・復旧方法 ()
	□ その他 ()	□ その他 ()
公害対策関係	☑ 施工方法の制限あり	☑ 制限項目 (☑ 騒音 図 振動 図 水質 図 粉じん 図 排出ガス □ その他 ()) □ 施工方法等 (□ 指定工法名 () □ その他 () □ 別途協議) □ 施工時期 ()
	□ 事業損失防止に関する調査あり	□ 調査項目 (□ 騒音測定 □ 振動測定 □ 水質調査 □ 近接家屋の事前・事後調査 □ 地盤沈下測定 □ 地下水位等の測定 □ その他 () □ 別途協議) □ 調査方法 (□ 別途資料 □ その他 () □ 別途協議)
	□ その他 ()	ことの他(

明示項目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☑ 交通安全施設等の指定あり ☑ 近接施設等に対する制限	□ 交通安全施設等の配置 (□別添図等 □ その他 () □別途協議) □ 方正路線 □ 指定路線以外 □ 指定路線以外 ○ 通誘導警備員の配置人員数 □ 振算警備員の配置人員数 □ 振算を必要をする。
		 ・近接施設(□ 擁壁() ☑ ブロック塀 ☑ 家屋 □ その他()) ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 □ 工法制限あり ・制限を受ける工種 () ・制限内容 ()
	□ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□ 安全防護施設等の配置 (□ 別添図等 □ その他 () □ 別途協議) □ 保安要員の配置 (□ 別添図等 □ その他 () □ 別途協議)
	☑ 現場での安全確保 (自主施工の原則)	✓ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。✓ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	☑ 事故速報の提出	✓ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	□ その他(□ その他(
工事用道路関係	□ 一般道路(搬入路)の使用制限あり □ 仮設道路の設置条件あり	□ 経路及び使用期間の制限内容 □ 別添図等 □ その他() □ 別途協議) □ 使用中及び使用後の措置 (□ 別添図等 □ その他() □ 別途協議) □ 用地及び構造 (□ 別添図等 □ その他() □ 別途協議) □ 安全施設 (□ 別添図等 □ その他() □ 別途協議)
	□ その他 ()	□ その他(

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仮設備関係	□仮設備の設置条件あり	□ 使用期間及び借地条件 (□ 別添図等 □ その他 () □ 別途協議) □ 転用あり (□ 兼用あり ()) □ をの他 ()
	□ 水替工(締切排水工)	□ 施工条件の指定なし □ 施工条件の指定あり ① 水替工 (締切排水工) の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数: 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等 (対象工種、期間等) を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工 (締切排水工) 完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 □ その他 (
	□ 仮設物の構造及び施工方法の指定 	□ 構造及び設計条件 (□ 別添図等 □ その他 () □ 別途協議) □ 施工方法 ()
	一 その他(
建設発生土・ 産業廃棄物関係	☑ 建設発生土受入地の指定あり	☑ 受入地の条件 (☑ 別途図面 ☑ 運搬距離 (L=1.8 km) □ 受入料金あり ☑ 受入料金なし □ 別途協議 □ その他 ()))
	□ 建設発生土受入地未定	□ 受入地未定につき別途協議する。(□ 暫定運搬距離 L = km、 □ その他 ())
	☑産業廃棄物の処理条件あり	 ✓ 産業廃棄物の種類 (✓ コン塊 ✓ アス塊 □ 木材 □ 汚泥 □ その他 ()) ✓ 産業廃棄物の処分地 (✓ 再生処分場(丸又鉱業(株)) □ 最終処分場() □ 別添図書 □ その他 () □ 別途協議) 【注:特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目 () に記入のこと。】 □ 処分場の受入条件 ()) ✓ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水(泥水)を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(受注者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員に提示しなければならない。 ✓ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。
	□ その他 ()	□ その他 ()
工事支障物件関係	☑ 工事支障物件あり	☑ 支障物件名 (□ 鉄道 ☑ 電気 ☑ 電話 ☑ 水道 □ ガス □ 有線 ☑ その他(電柱) ☑ 移設時期 (□ 令和 年 月 頃 ☑ 別途協議) □
	□ その他	口 その他 (

明示項目	明 示 事 項	条件及び内容
薬液注入関係	□ 薬液注入工法等の指定あり	□ 設計条件() 工法区分() 材料種類() 施工範囲() □ 削孔数量() 注入量() その他()
	□ 提出書類あり □ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	□ 工法関係() 材料関係()
	□ その他()	□ その他()
再生材使用関係	☑ 再生材使用の指定あり	✓ 再生材の種類(□ 再生Asコン □ 再生路盤材 ☑ 再生クラッシャーラン □ 道路用盛土材 □ 再生コン砂)✓ 再生材が使用出来ない場合の措置(☑ 新材に変更 □ その他() □ 別途協議)
	□ 六価クロム溶出試験あり(環境告示第46号溶出試験)	□ 再生コンクリート砂(1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。)
	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。
	認定製品の使用について	(認定製品の品名:□ 盛土材 □ 埋戻し材 □ サンドクッション材 □ 上層路盤材 ☑ コンクリート二次製品 □ グレーチング □ その他 ())
		✓ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。(認定製品の品名: 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板)
	□ その他()	□ その他 (
	□ 工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	□ 保管場所 () 期間 () その他 ()
	□ 現場発生品あり	□ 品名 () 数量 () 保管場所 () その他 ()
	□ 支給品あり	□ 品名 () 数量 () 引渡場所 () 時期 (令和 年 月 日) その他 ()
	□ 盛土材等工事間流用あり	□ 運搬方法 (□ 受注者で運搬 □ 受注者以外で運搬 □ 別途協議 □ その他 ()) □ 引渡場所 (□ 別添図等 □ 別途協議 □ その他 ()) 数量 () 運搬距離 (L = km)
	□ 現場環境改善費適用工事	□ 現場環境改善の内容(率分) (□ 現場環境改善の内容(積上) ()
	□ その他 ()	□ その他(
適用条件	☑ 適用条件	 ✓ 三重県公共工事共通仕様書(令和6年7月版)を適用(部分改定を行った内容も含む(最新改定:令和7年7月)) 編」を適用 ✓ 「土木構造物設計マニュアル(案) 編」を適用 ✓ デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) ✓ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) ✓ 「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」に係る特記仕様書(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) □ 「基礎工(既製杭工)特記仕様書」を適用(鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照) □ その他(

明示項目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
	□ 入札時VE方式 □ 契約後VE方式 □ 設計・施工一括発注方式 □ プロポーザル方式 □ 総合評価方式	□ 契約前のVE提案に基づき施工しなければならない。 □ 契約後にVE提案を受け付ける。 □ 細部設計の承認を受けなければならない。 □ 本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件(以下「発注工事」という。)で、 貴社の評価点において発注工事の加算点(満点)の1割を減点します。
	□ 工事完成図書(工事写真含む)☑ 電子納品対象外	□ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、(□ 2部□ (□)部)とする。 □ 三重県CALS電子納品運用マニュアル(令和 3年 7月改訂)を適用
地質調査の 電子成果品等	□ 地盤情報データベースの登録の必要あり	□ 検定及び登録機関(一般財団法人国土地盤情報センター (https://ngic.or.jp/)) □ 検定料金の計上(□ A検定 □ B検定)
産業廃棄物税	産業廃棄物税	□ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	☑ コリンズ (CORINS) の作成・登録	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ(CORINS)の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設 発生土情報交換シ ステム	✓ 建設副産物情報交換システム□ 建設発生土情報交換システム	✓ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。□ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	□ 下請企業の次数制限	□ 本工事における下請の次数は、2次(建築一式工事は3次)までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
市内企業 優先使用	☑ 市内企業の優先使用	✓ 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方(2次以下の請負人を含む)を史内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者を優先して選定するよう努めること。
県内産製品 優 先 使 用	☑ 建設資材の県内産製品優先使用	✓ 本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。✓ 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
県産木材の 利用推進	□ 県産木材の利用を指定する工種あり	□ 次の工種においては、県産木材を利用する。ただし、県産木材が利用できない場合は、監督員と別途協議すること。 (工種:□ 工事案内看板(標示板)□ 仮設防護柵工□ 公園施設工(□) 値裁支柱工□ 木製ガードレール□ 柵工□ 筋工□ 型枠工□ 視線誘導標□ 治山ダム工□ 土留工□ 伏工(□)

明示項目	明 示 事 項		条 件 及 び 内 容
不当介入を 受けた場合の 措置	☑ 不当介入を受けた場合の措置	V	暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固と してこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を 行うこと。
			(2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
			(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
社会保険等未加入 対策	✓ 社会保険等未加入対策 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)	Ø	適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認 すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

